

納め忘れはありませんか？

年度末が近づいています。新年度に向けて納め忘れの税金などがないか、今一度ご確認ください。

〈3月31日納期限の税金など〉

国民健康保険税	第10期
介護保険料	第10期
後期高齢者医療保険料	第9期



◎口座振替が便利です

「うっかりしていて納付を忘れていた」というかた、新年度からは安心して便利な口座振替にしませんか？
申込用紙は、市内の金融機関および郵便局に設置しています。また、収納課窓口でも受け付けています。

**税金は私たちの安心・安全な暮らしを支える大切な財源です。
今後も税金の納期限内納付にご協力をお願いします。**

未納を放置すると…

◎延滞金がかかる場合があります。

延滞金の率は毎年変動しますが、平成26年は年利9.2%です。納期限内に納税すれば、本来支払う必要のないお金です。

◎財産調査を行います。

納期限を過ぎ、督促状を発送しても納付されない場合、差し押さえ可能な財産を調査します。例えば勤務先への給与支払い状況調査などです。

これらは国税徴収法に基づき実施するもので、個人情報保護法には一切抵触しません。

◎滞納処分の対象となります。

市では滞納者から滞納税を回収するため、預金、給与、生命保険、不動産などの財産差し押さえを行っています。
納期限内納付を守っている大多数の市民の皆さんとの公平性を保つため、今後も毅然とした態度で滞納処分を実施していきます。

《平成25年度滞納処分などの実施件数》

差し押さえ財産	件数
預金	199件
給与	68件
生命保険	103件
不動産	18件
捜索	9件

(平成26年1月末現在)

【問い合わせ】 市収納課(福間庁舎) ☎43-8119

税金について



福間中学校3年 藤井 侑奈さん

「税金はとても大切な事だとビデオを観て改めて思いました。税金は身近に使われていて私達を通しての学校・警察署・消防署・病院・市町村のゴミ処理等といろいろな所で税金が使われています。この税金が無くなると事故などが起き始める原因ともなります。だから税金と言うのはとても大切なことだと分かりました。皆の税金によって今の私達は安心して生活ができています。」

次に税金にはいろいろな種類があることも知りました。税金から国税と市町村税に分かれ地方税から県税と市町村税と分かります。そしてそれを直接税と間接税に分けていきます。すると33種類の税金があることが分かりました。二つの税金があり皆がルールを守っているから安心して安全に暮らしができていると知り感じました。消費税とかいらないうちでいる人は居ると思います。消費税も一つの税です。消費税もあるからこそ生活ができています。」

そしてもう一つ、税金はどのように使われているかと言うとまず私たちの学校教育の振興で小学校・中学校・高校の建設、義務教育期間の教科書無料配布などより良い環境で教育が受けられるようにさまざまな事業を行っている。次に保健・医療・福祉の充実はお年寄りや体の不自由な人などのための施設や働く人のための保育所の設置、私たちの健康を守るための医療施設の整備を行っています。私たちが安心して暮らせるように犯罪の防止や交通安全の確保に当たりまた災害から人命や財産を守ったりしています。日常生活に欠かせない道路や橋、空港などを整備して利便性を確保したり博物館・図書館などの社会教育施設やプールなどのスポーツ施設の整備、文化財の保護をしている。他にも産業の振興や環境の保護や整備を行っています。

これからの課題で少子高齢社会の到来や増え続ける公債残高。今、年々増えてきて社会を支える支出が低下して大きな問題となっています。将来に向け日本の財政は将来への課題を抱えていて少子高齢社会を迎えた現在、国民が税金をどのように負担し納められた大切な税金を無駄なくどのような費用に使いこれからの日本をどんな国にしていくかは私たち国民が選択し税金についてもっと関心をもって、より正しく理解していただきたいと思います。

税金について考えてみて



福間東中学校3年 平田 侑希乃さん

私は、税金についてあまり関心はありませんでした。しかし、この機会を考え直す事ができました。

2011年に起きた東日本大震災は、多くのものを奪っていききました。友達や今まで育ってきた家、大好きな家族までも。私は、実際に体験してはいないのですが、被災者の人の心の奥底にある気持ちまではわかりませんが、テレビなどで被災地のニュースなどを見て、とてもつらいのだからと思います。笑っているけど、心から笑うことができない人もたくさんいるのだからと思います。3年たった今でも、被災地は、復興しきれっていません。津波で流された木や電信柱、建物などのがれきりなどもまだまだ残っているし、原子力発電所で原子炉が爆発をして出てきた放射能の処理も完全にはできていません。しかし、税金を使って建て直そうと一生懸命に頑張っています。よく考えてみれば、地震が起こってからの人々の救出や食料の配達などを行ってくれた自衛隊の派遣のお金も税金だし、家が壊れてしまった人や津波で流されてしまった多くの人が今住んでいる仮設住宅も税金で建てられているし、子供達が行く学校などの施設の復旧も税金

金で進められています。また、身近な場所でも税金が使われています。私達中学生や小学生などの教科書代、お年寄りや体の不自由な人などのための施設健康を守るための医療施設の整備など全て税金で賄われています。

このような事を知って、私は税金とは人々の生活を支えていくものであり、とても大切なものだと考え直すことができました。また、それと同時に生命に働いて稼いだお金を使わせてもらっているのだから教科書など大事に使わなければいけないと改めて思いました。そして、私は、もし税金がない国だったらどうなるのだからと考えるようになりました。地震が多い国なので自然災害が起こっても効率よく対処する事もできません。橋や道路などが壊れていても整備する事なんてできません。小学校や中学校の教科書については、持っている人と持っていない人が出てくる可能性があります。このような事になっては、生活をしていくのが難しくなります。しかし、今の私達は、その危ない道を渡ってしまっているのかもしれない。それは、税金を納めない人達などがいて、ここ数年ずっと歳出が税収を上回る状況が続いていて、赤字分は公債発行で賄われているので、日本の財政は将来世代に大きな負担を先送りして成り立っているからです。このままでは、赤字の額が大きくなっていくかもしれません。早いうちに、この事について考えなければならぬと思います。税金とは、困っている人を助けるものであって、なくてはならないものだと思います。また、税金を取られるという表現が日本からなくなっていくらいいと思います。私が税金を払うようになったら快く払いたいです。